

胆振管内

(P 52~68)

1 教科に関する調査(小学校)

① 学習指導要領の領域等別平均正答率

教科					全道・全国等との比較						
国語	A	全	胆振	北海道	全国	秋田	全道と比較して、「話すこと・聞くこと」「読むこと」はほぼ同様(上位)、「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は同様。全国と比較して、「話すこと・聞くこと」「読むこと」はほぼ同様(下位)、「書くこと」はやや低く、「書くこと」は低い。				
		体	78.2	77.4	81.6	86.9					
		学習指導要領の領域等					話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	
		胆振管内					77.7	51.1	80.5	82.3	
		北海道(合算)					76.6	51.3	78.8	81.7	
	全国(公立)					79.4	57.5	82.1	86.3		
	秋田(公立)					82.7	68.6	87.0	91.2		
	B	全	胆振	北海道	全国	秋田	全道と比較して、「話すこと・聞くこと」はほぼ同様(上位)、「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は同様。全国と比較して、「読むこと」はほぼ同様(下位)、「話すこと・聞くこと」はやや低く、「書くこと」は低く、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は相当低い。				
		体	52.0	51.1	55.6	63.0					
		学習指導要領の領域等					話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	
胆振管内					58.2	40.4	53.0	44.7			
北海道(合算)					57.2	39.8	52.2	44.6			
全国(公立)					63.0	46.8	55.7	55.2			
秋田(公立)					71.4	54.8	63.8	62.5			
算数	A	全	胆振	北海道	全国	秋田	全道と比較して、「数と計算」「数量関係」は同様、「量と測定」「図形」はほぼ同様(下位)。全国と比較して、「数と計算」「数量関係」はやや低く、「量と測定」は低く、「図形」は相当低い。				
		体	68.0	68.7	73.3	79.5					
		学習指導要領の領域等					数と計算	量と測定	図形	数量関係	
		胆振管内					70.8	65.3	64.4	69.8	
		北海道(合算)					71.0	67.3	65.8	70.3	
	全国(公立)					75.0	71.7	72.6	74.4		
	秋田(公立)					80.0	78.8	79.0	82.4		
	B	全	胆振	北海道	全国	秋田	全道と比較して、全領域が同様。全国と比較して、「数と計算」「量と測定」はやや低く、「図形」「数量関係」は低い。				
		体	54.1	54.3	58.9	64.0					
		学習指導要領の領域等					数と計算	量と測定	図形	数量関係	
胆振管内					49.6	56.5	57.7	44.5			
北海道(合算)					49.2	56.5	58.1	45.3			
全国(公立)					54.0	60.8	63.3	49.5			
秋田(公立)					59.0	65.8	69.0	54.1			
理科	全	胆振	北海道	全国	秋田	全道と比較して、「エネルギー」「地球」はほぼ同様(上位)、「物質」「生命」は同様。全国と比較して、「地球」は同様、「物質」「エネルギー」「生命」はほぼ同様(下位)。					
	体	58.9	58.6	60.9	68.4						
	学習指導要領の領域等					物質	エネルギー	生命	地球		
	胆振管内					59.5	57.3	65.8	49.8		
	北海道(合算)					59.5	56.2	66.7	48.6		
全国(公立)					61.4	59.8	68.6	50.6			
秋田(公立)					70.4	69.2	74.4	56.4			

② 6年間の推移(☆は全道と比較した全国)

全道との比較	国語A						国語B						算数A						算数B						理科
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H19	H20	H21	H22	H23	H24	
相当高い																									
高い										☆				☆	☆										
やや高い		☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆			☆			☆			☆		☆	☆			☆	
ほぼ同様(上位)	☆										○														☆
全道と同様				○	○	●						●				○	○	●				○	○	●	●
ほぼ同様(下位)	○		○					○		○				○	○					○					
やや低い		○								○															
低い							○							○						○	○				
相当低い																									

③ 教科についての課題

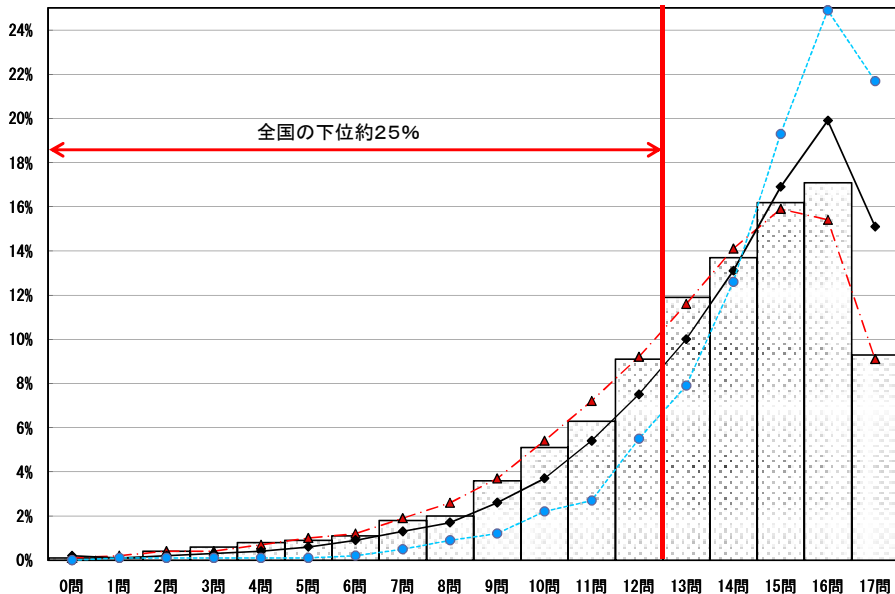
<p><国語A></p> <p>□ 「書くこと」における「目的や意図に応じ、必要となる事柄を整理して簡潔に書く」設問7から、新聞の報道記事のリードに必要な事柄を整理し、一文にまとめて書くこと平均正答率が、全道と比較し2.3ポイント低く、全国と比較し10.3ポイント低い。</p> <p>【解答状況】 「取材した内容の一部」に書かれている内容をまとめているという条件は満たしているが、書き出しの言葉に続けて、一文で書いているという条件を満たして書くことができず誤答となっている児童の割合が、全道と比較し1.8ポイント高く、全国と比較し4.3ポイント高い。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて、必要となる事柄を整理すること 伝えたい内容を明確に伝えるために複数の文を一文にまとめて書くこと
<p><算数A></p> <p>□ 「図形」における「四角形の四つの角の大きさの和が360°であることを理解する」設問6(1)から、四角形の三つの角の大きさから、残りの角の大きさを計算すること平均正答率が、全道と比較し5.5ポイント低く、全国と比較し10.5ポイント低い。</p> <p>【解答状況】 三つの角の大きさから、残りの角の大きさを計算するところを四角形の二つの角又は三つの角の大きさの和を解答し、誤答となっている児童の割合が、全道と比較し2.1ポイント高く、全国と比較し3.4ポイント高い。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 四角形の四つの角の大きさが360°であることを確実に理解すること 図形の性質を根拠にして、筋道を立てて角の大きさを求めること
<p><理科></p> <p>□ 「エネルギー」における「車を動かす力を強くするための工夫について光電池の特性や乾電池のつなぎ方から当てはまる言葉を書く」設問3(1)イから、乾電池の働きを強くするための要因を理解し、乾電池のつなぎ方を書くこと平均正答率が、全道と比較し同様だが、全国と比較し6.2ポイント低い。</p> <p>【解答状況】 乾電池で動く車を速く動かすための工夫として、乾電池を2つ使い「直列」つなぎとすると「直接」や「直行」などと解答し、誤答となっている児童の割合が、全道と比較し2.4ポイント高く、全国と比較し5.5ポイント高い。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 乾電池のつなぎ方において、電流の働きを強くする要因について理解すること 「直列つなぎ」という科学的な言葉や概念を適切に使用すること

④ 正答数の状況(下位層の割合)

小学校国語A

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)	中央値	標準偏差
胆振管内	3,274	13.3 / 17	78.2	—	14.0	3.0
北海道(合算)	31,747	13.2 / 17	77.4	—	14.0	3.1
全国(公立)	255,180	13.9 / 17	81.6	81.4 — 81.7	15.0	2.9
秋田(公立)	3,511	14.8 / 17	86.9	86.4 — 87.3	15.0	2.2

胆振管内 北海道(合算) 全国(公立) 秋田(公立)



- 全国の下位約25%は、12問以下の正答数(正答率は70.6%以下)。
- 胆振管内は、この層に属する児童の割合が31.9%となっており、全道と比較するとわずかに少なく、全国と比較すると多い。上位県と比較すると大幅に多い。

正答数 (児童の割合(%))				
正答数 (正答率)	胆振	北海道	全国	秋田
0問 (0.0%)	0.1	0.1	0.2	0.0
1問 (5.9%)	0.1	0.2	0.1	0.1
2問 (11.8%)	0.4	0.4	0.2	0.1
3問 (17.6%)	0.6	0.4	0.3	0.1
4問 (23.5%)	0.8	0.7	0.4	0.1
5問 (29.4%)	0.9	1.0	0.6	0.1
6問 (35.3%)	1.1	1.2	0.9	0.2
7問 (41.2%)	1.8	1.9	1.3	0.5
8問 (47.1%)	2.0	2.6	1.7	0.9
9問 (52.9%)	3.6	3.7	2.6	1.2
10問 (58.8%)	5.1	5.4	3.7	2.2
11問 (64.7%)	6.3	7.2	5.4	2.7
12問 (70.6%)	9.1	9.2	7.5	5.5
13問 (76.5%)	11.9	11.6	10.0	7.9
14問 (82.4%)	13.7	14.1	13.1	12.6
15問 (88.2%)	16.2	15.9	16.9	19.3
16問 (94.1%)	17.1	15.4	19.9	24.9
17問 (100.0%)	9.3	9.1	15.1	21.7

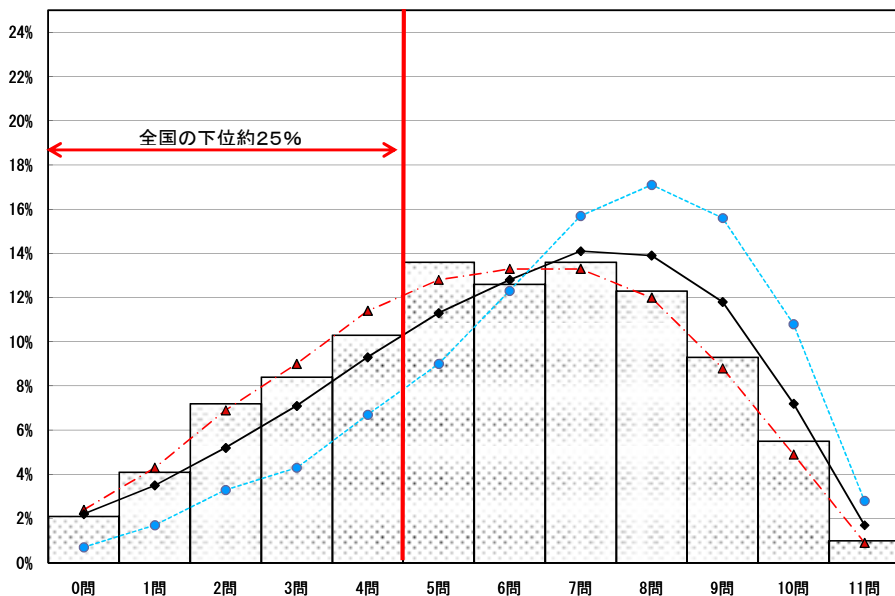
12問以下の割合 31.9 34.0 24.9 13.7

- ※ 全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に属する全道及び管内の児童生徒の割合を比較した。
- ※ 児童生徒の割合は、小数第2位以下を四捨五入しているため、合計しても100にならない場合がある。

小学校国語B

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)	中央値	標準偏差
胆振管内	3,274	5.7 / 11	52.0	—	6.0	2.6
北海道(合算)	31,737	5.6 / 11	51.1	—	6.0	2.6
全国(公立)	255,139	6.1 / 11	55.6	55.4 — 55.8	6.0	2.6
秋田(公立)	3,510	6.9 / 11	63.0	62.1 — 63.8	7.0	2.4

胆振管内 北海道(合算) 全国(公立) 秋田(公立)



- 全国の下位約25%は、4問以下の正答数(正答率は36.4%以下)。
- 胆振管内は、この層に属する児童の割合が32.1%となっており、全道と比較するとわずかに少なく、全国と比較するとやや多い。上位県と比較すると大幅に多い。

正答数 (児童の割合(%))				
正答数 (正答率)	胆振	北海道	全国	秋田
0問 (0.0%)	2.1	2.4	2.2	0.7
1問 (9.1%)	4.1	4.3	3.5	1.7
2問 (18.2%)	7.2	6.9	5.2	3.3
3問 (27.3%)	8.4	9.0	7.1	4.3
4問 (36.4%)	10.3	11.4	9.3	6.7
5問 (45.5%)	13.6	12.8	11.3	9.0
6問 (54.5%)	12.6	13.3	12.8	12.3
7問 (63.6%)	13.6	13.3	14.1	15.7
8問 (72.7%)	12.3	12.0	13.9	17.1
9問 (81.8%)	9.3	8.8	11.8	15.6
10問 (90.9%)	5.5	4.9	7.2	10.8
11問 (100.0%)	1.0	0.9	1.7	2.8

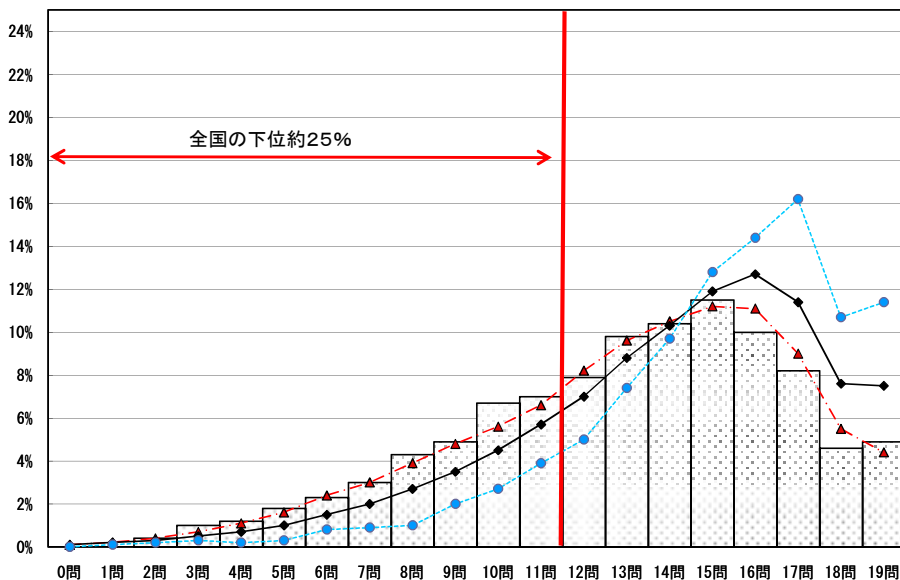
4問以下の割合 32.1 34.0 27.3 16.7

- ※ 全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に属する全道及び管内の児童生徒の割合を比較した。
- ※ 児童生徒の割合は、小数第2位以下を四捨五入しているため、合計しても100にならない場合がある。

小学校算数A

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)	中央値	標準偏差
胆振管内	3,274	12.9 / 19	68.0	—	13.0	3.8
北海道(合算)	31,749	13.1 / 19	68.7	—	14.0	3.8
全国(公立)	255,186	13.9 / 19	73.3	73.1 — 73.5	15.0	3.6
秋田(公立)	3,511	15.1 / 19	79.5	78.8 — 80.2	16.0	3.1

胆振管内 北海道(合算) 全国(公立) 秋田(公立)



- 全国の下位約25%は、11問以下の正答数(正答率は57.9%以下)。
- 胆振管内は、この層に属する児童の割合が32.6%となっており、全道と比較するとわずかに多く、全国と比較すると多い。上位県と比較すると大幅に多い。

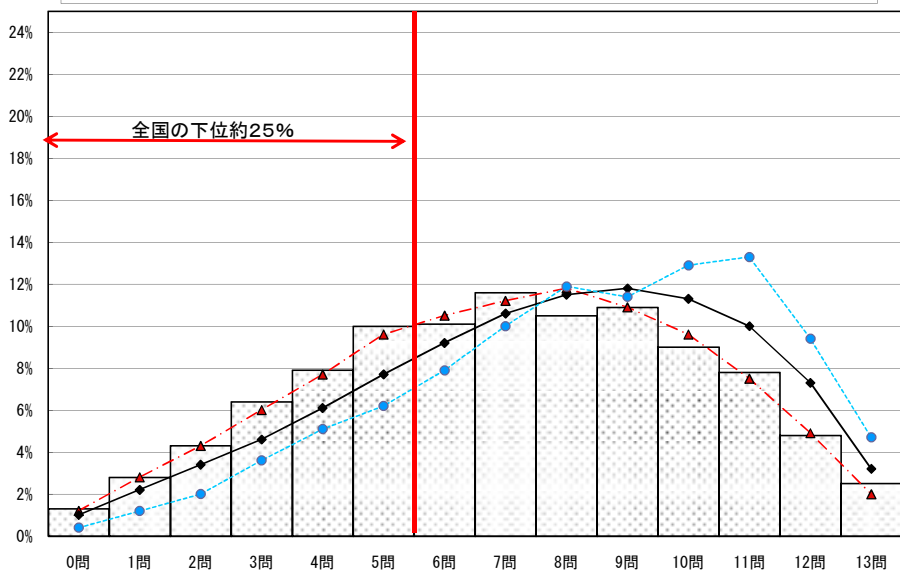
正答数 (児童の割合(%))				
正答数 (正答率)	胆振	北海道	全国	秋田
0問 (0.0%)	0.0	0.1	0.1	0.0
1問 (5.3%)	0.0	0.2	0.2	0.1
2問 (10.5%)	0.4	0.4	0.3	0.2
3問 (15.8%)	1.0	0.7	0.5	0.3
4問 (21.1%)	1.2	1.1	0.7	0.2
5問 (26.3%)	1.8	1.6	1.0	0.3
6問 (31.6%)	2.3	2.4	1.5	0.8
7問 (36.8%)	3.0	3.0	2.0	0.9
8問 (42.1%)	4.3	3.9	2.7	1.0
9問 (47.4%)	4.9	4.8	3.5	2.0
10問 (52.6%)	6.7	5.6	4.5	2.7
11問 (57.9%)	7.0	6.6	5.7	3.9
12問 (63.2%)	7.9	8.2	7.0	5.0
13問 (68.4%)	9.8	9.6	8.8	7.4
14問 (73.7%)	10.4	10.5	10.3	9.7
15問 (78.9%)	11.5	11.2	11.9	12.8
16問 (84.2%)	10.0	11.1	12.7	14.4
17問 (89.5%)	8.2	9.0	11.4	16.2
18問 (94.7%)	4.6	5.5	7.6	10.7
19問 (100.0%)	4.9	4.4	7.5	11.4
11問以下の割合	32.6	30.4	22.7	12.4

- ※ 全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に属する全道及び管内の児童生徒の割合を比較した。
- ※ 児童生徒の割合は、小数第2位以下を四捨五入しているため、合計しても100にならない場合がある。

小学校算数B

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)	中央値	標準偏差
胆振管内	3,272	7.0 / 13	54.1	—	7.0	3.1
北海道(合算)	31,748	7.1 / 13	54.3	—	7.0	3.1
全国(公立)	255,151	7.7 / 13	58.9	58.7 — 59.1	8.0	3.1
秋田(公立)	3,510	8.3 / 13	64.0	63.2 — 64.9	9.0	2.9

胆振管内 北海道(合算) 全国(公立) 秋田(公立)



- 全国の下位約25%は、5問以下の正答数(正答率は38.5%以下)。
- 胆振管内は、この層に属する児童の割合が32.7%となっており、全道と比較するとわずかに多く、全国と比較すると多い。上位県と比較すると大幅に多い。

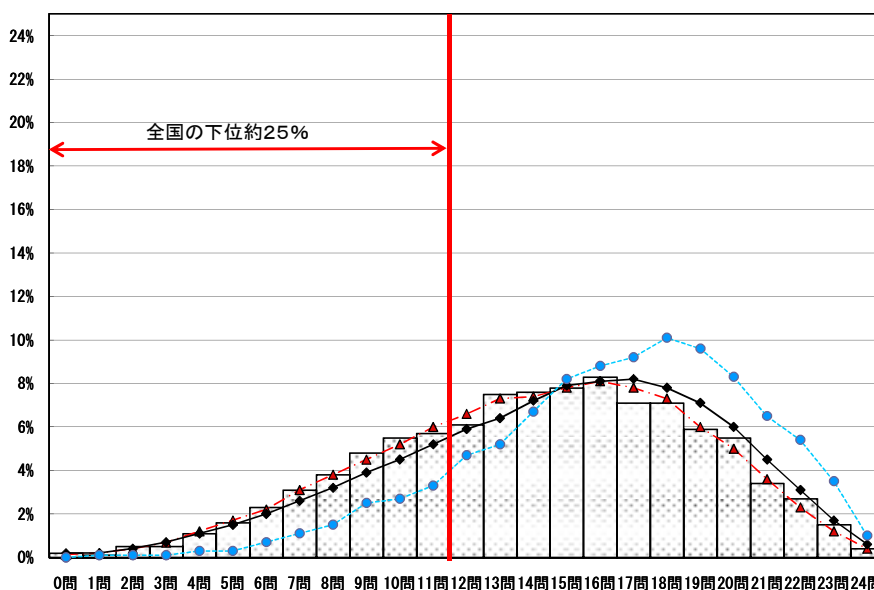
正答数 (児童の割合(%))				
正答数 (正答率)	胆振	北海道	全国	秋田
0問 (0.0%)	1.3	1.2	1.0	0.4
1問 (7.7%)	2.8	2.8	2.2	1.2
2問 (15.4%)	4.3	4.3	3.4	2.0
3問 (23.1%)	6.4	6.0	4.6	3.6
4問 (30.8%)	7.9	7.7	6.1	5.1
5問 (38.5%)	10.0	9.6	7.7	6.2
6問 (46.2%)	10.1	10.5	9.2	7.9
7問 (53.8%)	11.6	11.2	10.6	10.0
8問 (61.5%)	10.5	11.8	11.5	11.9
9問 (69.2%)	10.9	10.9	11.8	11.4
10問 (76.9%)	9.0	9.6	11.3	12.9
11問 (84.6%)	7.8	7.5	10.0	13.3
12問 (92.3%)	4.8	4.9	7.3	9.4
13問 (100.0%)	2.5	2.0	3.2	4.7
5問以下の割合	32.7	31.6	25.0	18.5

- ※ 全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に属する全道及び管内の児童生徒の割合を比較した。
- ※ 児童生徒の割合は、小数第2位以下を四捨五入しているため、合計しても100にならない場合がある。

小学校理科

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)	中央値	標準偏差
胆振管内	3,273	14.1 / 24	58.9	—	14.0	4.7
北海道(合算)	31,637	14.1 / 24	58.6	—	14.0	4.7
全国(公立)	254,825	14.6 / 24	60.9	60.8 — 61.1	15.0	4.8
秋田(公立)	3,510	16.4 / 24	68.4	67.7 — 69.1	17.0	4.1

胆振管内 北海道(合算) 全国(公立) 秋田(公立)



- 全国の下位約25%は、11問以下の正答数(正答率は45.8%以下)。
- 胆振管内は、この層に属する児童の割合が29.2%となっており、全道と比較すると同様、全国と比較するとやや多い。上位県と比較すると大幅に多い。

正答数 (児童の割合(%))				
正答数 (正答率)	胆振	北海道	全国	秋田
0問 (0.0%)	0.2	0.1	0.2	0.0
1問 (4.2%)	0.1	0.2	0.2	0.1
2問 (8.3%)	0.5	0.4	0.4	0.1
3問 (12.5%)	0.5	0.7	0.7	0.1
4問 (16.7%)	1.1	1.2	1.1	0.3
5問 (20.8%)	1.6	1.7	1.5	0.3
6問 (25.0%)	2.3	2.2	2.0	0.7
7問 (29.2%)	3.1	3.1	2.6	1.1
8問 (33.3%)	3.8	3.8	3.2	1.5
9問 (37.5%)	4.8	4.5	3.9	2.5
10問 (41.7%)	5.5	5.2	4.5	2.7
11問 (45.8%)	5.7	6.0	5.2	3.3
12問 (50.0%)	6.1	6.6	5.9	4.7
13問 (54.2%)	7.5	7.3	6.4	5.2
14問 (58.3%)	7.6	7.4	7.2	6.7
15問 (62.5%)	7.8	7.8	7.9	8.2
16問 (66.7%)	8.3	8.1	8.1	8.8
17問 (70.8%)	7.1	7.8	8.2	9.2
18問 (75.0%)	7.1	7.3	7.8	10.1
19問 (79.2%)	5.9	6.0	7.1	9.6
20問 (83.3%)	5.5	5.0	6.0	8.3
21問 (87.5%)	3.4	3.6	4.5	6.5
22問 (91.7%)	2.7	2.3	3.1	5.4
23問 (95.8%)	1.5	1.2	1.7	3.5
24問 (100.0%)	0.4	0.4	0.6	1.0
11問以下の割合	29.2	29.1	25.5	12.7

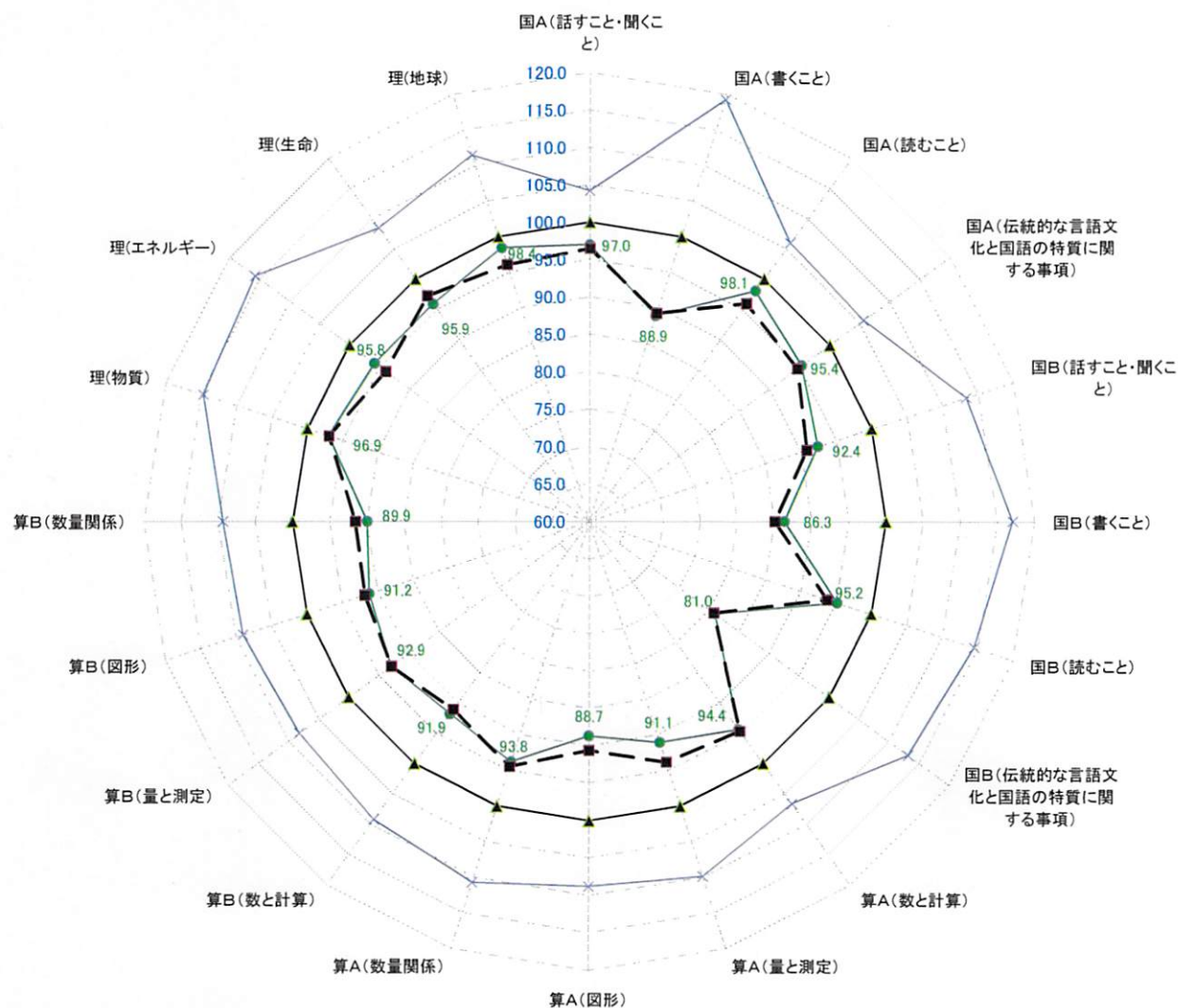
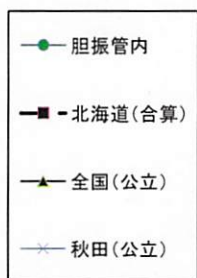
- ※ 全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に属する全道及び管内の児童生徒の割合を比較した。
- ※ 児童生徒の割合は、小数第2位以下を四捨五入しているため、合計しても100にならない場合がある。

【参考】

「1 教科に関する調査」における「① 学習指導要領の領域等別平均正答率」の記載及び「② 6年間の推移」の示し方については、全道・全国の平均正答率との差を次のような基準により表している。

- ・道(国)と同様・・・1ポイント未満の範囲内
- ・道(国)とほぼ同様・・・1ポイント以上3ポイント未満の範囲内で、
道(国)より高いもの「ほぼ同様(上位)」
道(国)より低いもの「ほぼ同様(下位)」
- ・道(国)よりやや高い(低い)・・・3ポイント以上、5ポイント未満の範囲内
- ・道(国)より高い(低い)・・・5ポイント以上、7ポイント未満の範囲内
- ・道(国)より相当高い(低い)・・・7ポイント以上の範囲

⑤ 全教科のチャート図



※ 数値は、「それぞれの平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100」で算出し、管内のみ表記
 ※ 「1 教科に関する調査」の「① 学習指導要領の領域等別平均正答率」のデータをチャート図にしたもの

2 教科に関する調査(中学校)

① 学習指導要領の領域等別平均正答率

教科					全道・全国等との比較						
国語	A	全体	胆振	北海道	全国	秋田	全道と比較して、「書くこと」は同様、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「言語事項」はほぼ同様(下位)。全国と比較して、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「言語事項」はほぼ同様(下位)、「書くこと」はやや低い。				
		72.4	74.0	75.1	79.7						
		学習指導要領の領域等					話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	
		胆振管内					85.4	84.6	63.2	71.0	
		北海道(合算)					86.4	85.1	64.8	72.8	
	全国(公立)					87.7	88.1	65.4	73.7		
	秋田(公立)					91.9	92.4	69.4	78.5		
	B	全体	胆振	北海道	全国	秋田	全道と比較して、「話すこと・聞くこと」はほぼ同様(下位)、「書くこと」「読むこと」はやや低い。全国と比較して、「話すこと・聞くこと」「読むこと」はほぼ同様(下位)、「書くこと」はやや低い。				
		61.0	63.7	63.3	70.3						
		学習指導要領の領域等					話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	
胆振管内					57.5	53.5	59.4				
北海道(合算)					59.6	57.2	62.8				
全国(公立)					59.9	57.4	61.5				
秋田(公立)					65.5	64.4	69.5				
数学	A	全体	胆振	北海道	全国	秋田	全道と比較して、全ての領域がほぼ同様(下位)。全国と比較して、「図形」「数量関係」はやや低く、「数と式」が低い。				
		58.0	60.0	62.1	67.4						
		学習指導要領の領域等					数と式	図形	数量関係		
		胆振管内					61.7	63.6	48.6		
		北海道(合算)					64.3	65.0	50.8		
	全国(公立)					67.5	66.7	52.1			
	秋田(公立)					73.1	70.9	58.3			
	B	全体	胆振	北海道	全国	秋田	全道と比較して、「図形」「数量関係」はほぼ同様(下位)、「数と式」はやや低い。全国と比較して、「図形」「数量関係」はやや低い、「数と式」は低い。				
		44.2	46.9	49.3	56.7						
		学習指導要領の領域等					数と式	図形	数量関係		
胆振管内					34.4	55.0	35.0				
北海道(合算)					37.5	57.9	37.2				
全国(公立)					40.9	59.7	39.8				
秋田(公立)					49.9	66.1	47.0				
理科	全体	胆振	北海道	全国	秋田	全道と比較して、「地学的領域」は同様、「物理的領域」「化学的領域」「生物的領域」はほぼ同様(下位)。全国と比較して、「地学的領域」は同様、「物理的領域」はほぼ同様(下位)、「化学的領域」「生物的領域」はやや低い。					
	48.3	50.3	51.0	56.1							
	学習指導要領の領域等					物理的領域	化学的領域	生物的領域	地学的領域		
	胆振管内					43.5	53.6	46.3	51.5		
	北海道(合算)					45.3	56.3	48.7	52.3		
全国(公立)					45.9	56.9	50.7	52.0			
秋田(公立)					50.7	62.0	57.7	55.9			

② 6年間の推移(☆は全道と比較した全国)

全道との比較	国語A				国語B				数学A				数学B				理科		
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H19	H20	H21	H22		H23	H24
相当高い																			
高い																			
やや高い									☆				☆		☆				
ほぼ同様(上位)	☆					☆	☆	☆	☆				☆	☆		☆		☆	
全道と同様		☆	☆	☆	○					○	☆					○			☆
ほぼ同様(下位)	○	○	○	○		●			○	○	●	○	○			●	○	○	●
やや低い																			
低い							○	○					○	○					
相当低い																			

③ 教科についての課題

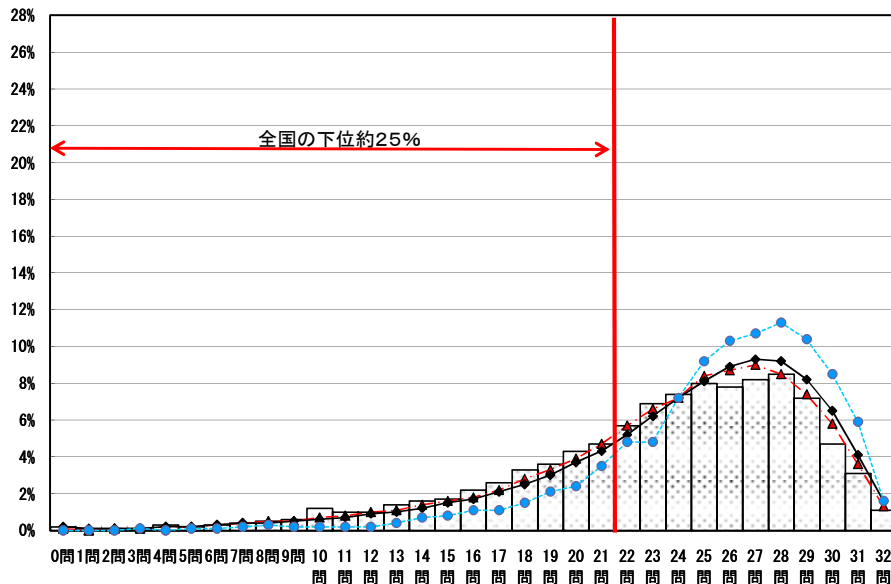
<p><国語A></p> <p>□ 「読むこと」における「比喩という言葉と結び付けて、表現の仕方を理解する」設問3二から、文章中の表現の技法の名称を書くこと平均正答率が、全道と比較し4.2ポイント低く、全国と比較し5.5ポイント低い。</p> <p>【解答状況】 「この村の月は、まるでよく熟した夏ミカンだ」に使われている表現の技法について、「比喩」「たとえ」のように解答するところを「擬人法」「倒置法」などと解答し、誤答となっている生徒の割合が、全道と比較し0.7ポイント高く、全国と比較し4.5ポイント高い。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 比喩という言葉と結び付けて、表現の技法を理解すること ・ 比喩や反復などの表現の技法について理解すること
<p><数学A></p> <p>□ 「数量関係」における「反比例の関係を表す表から表中の値を求める」設問10(1)から、反比例の表を完成することの平均正答率が、全道と比較し4.8ポイント低く、全国と比較し10.1ポイント低い。</p> <p>【解答状況】 反比例の関係を表す表から変化や対応の特徴を捉え、xの値に対応するyの値を求めるところをyの変化の特徴のみに着目し「0」又は「3」と解答し、誤答となっている生徒の割合が、全道と比較し2.0ポイント高く、全国と比較し7.5ポイント高い。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 反比例の関係を表す表から変化や対応の特徴を捉え、xの値に対応するyの値を求めるところ ・ 比例と対比して反比例の意味を理解すること
<p><理科></p> <p>□ 「物理的領域」における「浮力を理解しているかどうかをみる」設問4(3)から、実験結果から食塩水の中で卵にはたらく浮力の大きさを求める式を書き、浮力の大きさを求めること平均正答率が、全道と比較し5.0ポイント低く、全国と比較し8.4ポイント低い。</p> <p>【解答状況】 卵を空気中であつるしてはかつたとき、食塩水の中に沈めてはかつたときのばねばかりの値を基に、卵に浮力がはたらくていることを理解し、計算するところを無解答となっている生徒の割合が、全道と比較し5.5ポイント高く、全国と比較し11.2ポイント高い。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観察・実験を通して量的な関係を見いだすこと ・ 観察・実験の結果を基に、浮力の存在を確かめること

④ 正答数の状況(下位層の割合)

中学校国語A

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)	中央値	標準偏差
胆振管内	3,256	23.2 / 32	72.4	—	24.0	5.7
北海道(合算)	34,067	23.7 / 32	74.0	—	25.0	5.5
全国(公立)	424,157	24.0 / 32	75.1	75.0 — 75.2	25.0	5.5
秋田(公立)	4,971	25.5 / 32	79.7	79.2 — 80.2	26.0	4.5

胆振管内 北海道(合算) 全国(公立) 秋田(公立)



- 全国の下位約25%は、21問以下の正答数(正答率は65.6%以下)。
- 胆振管内は、この層に属する生徒の割合が31.4%となっており、全道と比較するとやや多く、全国と比較すると多い。上位県と比較すると大幅に多い。

正答数 (生徒の割合(%))				
正答数(正答率)	胆振	北海道	全国	秋田
0問(0.0%)	0.2	0.1	0.2	0.0
1問(3.1%)	0.1	0.0	0.1	0.0
2問(6.3%)	0.1	0.1	0.1	0.0
3問(9.4%)	0.1	0.1	0.1	0.1
4問(12.5%)	0.3	0.2	0.2	0.0
5問(15.6%)	0.2	0.2	0.2	0.1
6問(18.8%)	0.3	0.3	0.3	0.1
7問(21.9%)	0.4	0.4	0.4	0.2
8問(25.0%)	0.5	0.5	0.4	0.3
9問(28.1%)	0.6	0.5	0.5	0.2
10問(31.3%)	1.2	0.7	0.6	0.2
11問(34.4%)	1.0	0.8	0.7	0.2
12問(37.5%)	1.0	1.0	0.9	0.2
13問(40.6%)	1.4	1.1	1.0	0.4
14問(43.8%)	1.6	1.4	1.2	0.7
15問(46.9%)	1.7	1.6	1.5	0.8
16問(50.0%)	2.2	1.8	1.7	1.1
17問(53.1%)	2.6	2.2	2.1	1.1
18問(56.3%)	3.3	2.8	2.5	1.5
19問(59.4%)	3.6	3.3	3.0	2.1
20問(62.5%)	4.3	3.9	3.7	2.4
21問(65.6%)	4.7	4.7	4.3	3.5
22問(68.8%)	5.7	5.7	5.2	4.8
23問(71.9%)	6.9	6.6	6.2	4.8
24問(75.0%)	7.4	7.2	7.2	7.2
25問(78.1%)	8.0	8.4	8.1	9.2
26問(81.3%)	7.8	8.7	8.9	10.3
27問(84.4%)	8.2	9.0	9.3	10.7
28問(87.5%)	8.5	8.5	9.2	11.3
29問(90.6%)	7.2	7.4	8.2	10.4
30問(93.8%)	4.7	5.8	6.5	8.5
31問(96.9%)	3.1	3.6	4.1	5.9
32問(100.0%)	1.1	1.3	1.6	1.6

21問以下の割合 31.4 27.7 25.7 15.2

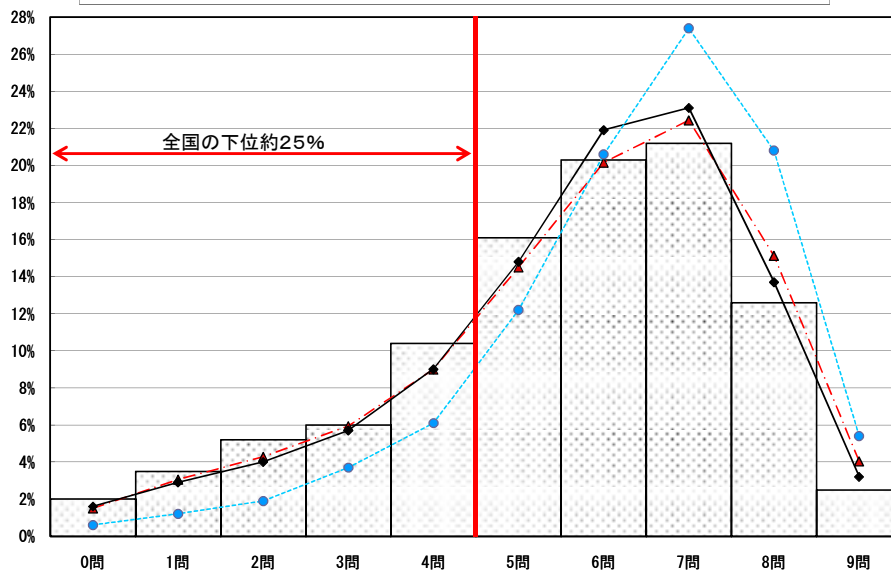
※ 全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に属する全道及び管内の児童生徒の割合を比較した。

※ 児童生徒の割合は、小数第2位以下を四捨五入しているため、合計しても100にならない場合がある。

中学校国語B

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)	中央値	標準偏差
胆振管内	3,258	5.5 / 9	61.0	—	6.0	2.1
北海道(合算)	34,039	5.7 / 9	63.7	—	6.0	2.0
全国(公立)	424,258	5.7 / 9	63.3	63.2 — 63.4	6.0	2.0
秋田(公立)	4,964	6.3 / 9	70.3	69.7 — 70.8	7.0	1.7

胆振管内 北海道(合算) 全国(公立) 秋田(公立)



- 全国の下位約25%は、4問以下の正答数(正答率は44.4%以下)。
- 胆振管内は、この層に属する生徒の割合が27.1%となっており、全道・全国と比較するとやや多い。上位県と比較すると大幅に多い。

正答数 (生徒の割合(%))				
正答数(正答率)	胆振	北海道	全国	秋田
0問(0.0%)	2.0	1.5	1.6	0.6
1問(11.1%)	3.5	3.1	2.9	1.2
2問(22.2%)	5.2	4.3	4.0	1.9
3問(33.3%)	6.0	5.9	5.7	3.7
4問(44.4%)	10.4	9.0	9.0	6.1
5問(55.6%)	16.1	14.5	14.8	12.2
6問(66.7%)	20.3	20.2	21.9	20.6
7問(77.8%)	21.2	22.4	23.1	27.4
8問(88.9%)	12.6	15.1	13.7	20.8
9問(100.0%)	2.5	4.0	3.2	5.4

4問以下の割合 27.1 23.8 23.2 13.5

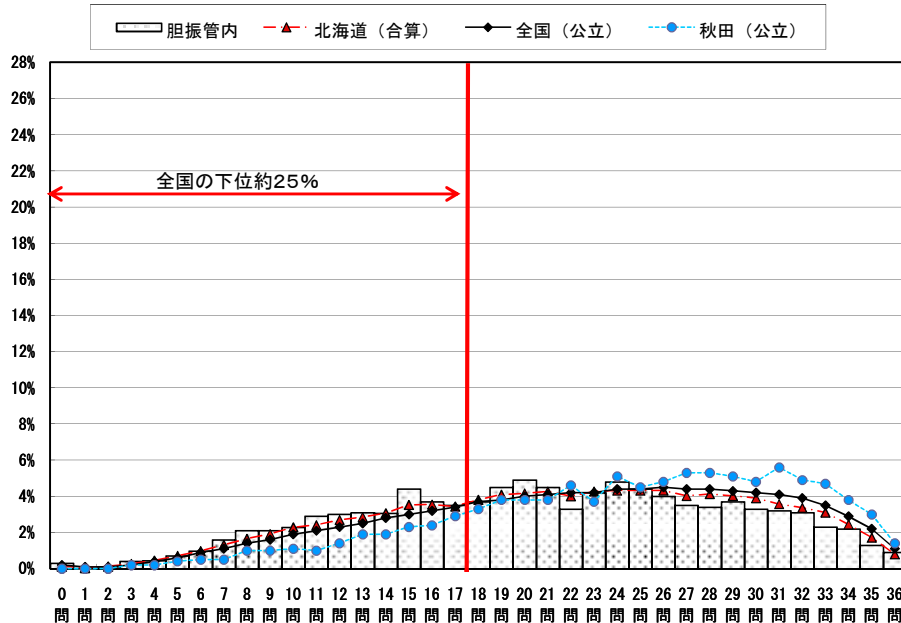
※ 全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に属する全道及び管内の児童生徒の割合を比較した。

※ 児童生徒の割合は、小数第2位以下を四捨五入しているため、合計しても100にならない場合がある。

中学校数学A

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)	中央値	標準偏差
胆振管内	3,255	20.9 / 36	58.0	—	21.0	7.9
北海道(合算)	34,022	21.6 / 36	60.0	—	22.0	7.9
全国(公立)	424,379	22.4 / 36	62.1	62.0 — 62.3	23.0	7.9
秋田(公立)	4,960	24.3 / 36	67.4	66.6 — 68.2	25.0	7.3

正答数 (生徒の割合(%))				
正答数 (正答率)	胆振	北海道	全国	秋田
0問 (0.0%)	0.3	0.1	0.2	0.0
1問 (2.8%)	0.0	0.0	0.1	0.0
2問 (5.6%)	0.1	0.1	0.1	0.0
3問 (8.3%)	0.4	0.3	0.2	0.2
4問 (11.1%)	0.4	0.4	0.4	0.2
5問 (13.9%)	0.7	0.7	0.6	0.4
6問 (16.7%)	1.0	1.0	0.9	0.5
7問 (19.4%)	1.6	1.3	1.1	0.5
8問 (22.2%)	2.1	1.7	1.4	1.0
9問 (25.0%)	2.1	1.9	1.6	1.0
10問 (27.8%)	2.3	2.3	1.9	1.1
11問 (30.6%)	2.9	2.4	2.1	1.0
12問 (33.3%)	3.0	2.7	2.3	1.4
13問 (36.1%)	3.1	2.9	2.5	1.9
14問 (38.9%)	3.1	3.1	2.8	1.9
15問 (41.7%)	4.4	3.5	3.0	2.3
16問 (44.4%)	3.7	3.5	3.2	2.4
17問 (47.2%)	3.5	3.4	3.4	2.9
18問 (50.0%)	3.7	3.8	3.7	3.3
19問 (52.8%)	4.5	4.1	3.8	3.8
20問 (55.6%)	4.9	4.2	4.0	3.8
21問 (58.3%)	4.5	4.3	4.1	3.8
22問 (61.1%)	3.3	4.0	4.2	4.6
23問 (63.9%)	4.2	4.3	4.2	3.7
24問 (66.7%)	4.8	4.3	4.4	5.1
25問 (69.4%)	4.4	4.3	4.4	4.5
26問 (72.2%)	4.0	4.3	4.5	4.8
27問 (75.0%)	3.5	4.0	4.4	5.3
28問 (77.8%)	3.4	4.1	4.4	5.3
29問 (80.6%)	3.7	4.0	4.3	5.1
30問 (83.3%)	3.3	3.9	4.2	4.8
31問 (86.1%)	3.2	3.6	4.1	5.6
32問 (88.9%)	3.1	3.4	3.9	4.9
33問 (91.7%)	2.3	3.1	3.5	4.7
34問 (94.4%)	2.2	2.5	2.9	3.8
35問 (97.2%)	1.3	1.7	2.2	3.0
36問 (100.0%)	0.9	0.8	1.1	1.4



17問以下の割合 **34.7** **31.3** **27.8** **18.7**

- 全国の下位約25%は、17問以下の正答数(正答率は47.2%以下)。
- 胆振管内は、この層に属する生徒の割合が34.7%となっており、全道と比較するとやや多く、全国と比較すると多い。上位県と比較すると大幅に多い。

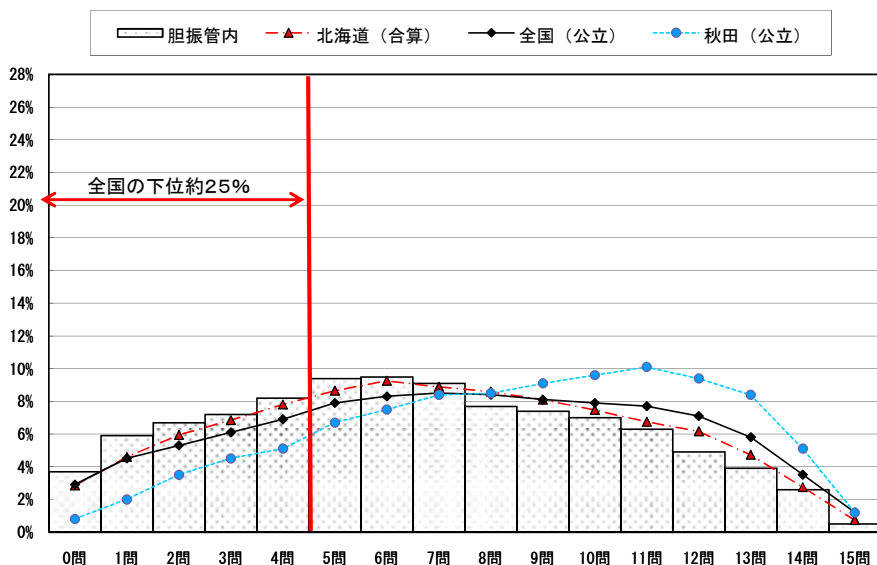
※ 全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に属する全道及び管内の児童生徒の割合を比較した。

※ 児童生徒の割合は、小数第2位以下を四捨五入しているため、合計しても100にならない場合がある。

中学校数学B

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)	中央値	標準偏差
胆振管内	3,242	6.6 / 15	44.2	—	6.0	3.8
北海道(合算)	33,999	7.0 / 15	46.9	—	7.0	3.7
全国(公立)	424,373	7.4 / 15	49.3	49.2 — 49.5	7.0	3.9
秋田(公立)	4,963	8.5 / 15	56.7	55.6 — 57.7	9.0	3.6

正答数 (生徒の割合(%))				
正答数 (正答率)	胆振	北海道	全国	秋田
0問 (0.0%)	3.7	2.8	2.9	0.8
1問 (6.7%)	5.9	4.6	4.5	2.0
2問 (13.3%)	6.7	5.9	5.3	3.5
3問 (20.0%)	7.2	6.8	6.1	4.5
4問 (26.7%)	8.2	7.8	6.9	5.1
5問 (33.3%)	9.4	8.6	7.9	6.7
6問 (40.0%)	9.5	9.3	8.3	7.5
7問 (46.7%)	9.1	8.9	8.5	8.4
8問 (53.3%)	7.7	8.6	8.4	8.5
9問 (60.0%)	7.4	8.1	8.1	9.1
10問 (66.7%)	7.0	7.5	7.9	9.6
11問 (73.3%)	6.3	6.7	7.7	10.1
12問 (80.0%)	4.9	6.2	7.1	9.4
13問 (86.7%)	3.9	4.7	5.8	8.4
14問 (93.3%)	2.6	2.7	3.5	5.1
15問 (100.0%)	0.5	0.7	1.2	1.2



4問以下の割合 **31.7** **27.9** **25.7** **15.9**

- 全国の下位約25%は、4問以下の正答数(正答率は26.7%以下)。
- 胆振管内は、この層に属する生徒の割合が31.7%となっており、全道と比較するとやや多く、全国と比較すると多い。上位県と比較すると大幅に多い。

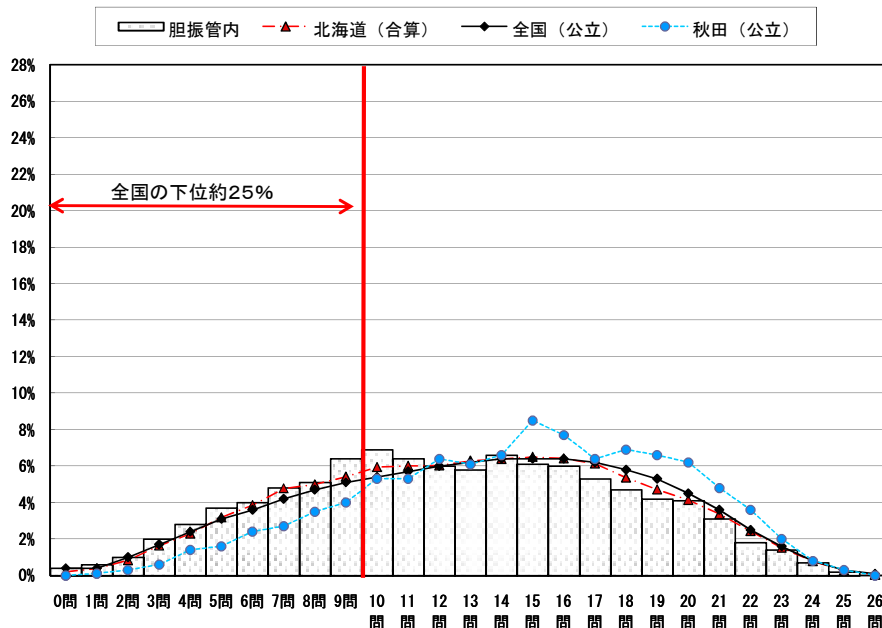
※ 全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に属する全道及び管内の児童生徒の割合を比較した。

※ 児童生徒の割合は、小数第2位以下を四捨五入しているため、合計しても100にならない場合がある。

中学校理科

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	平均正答率の95%信頼区間(%)	中央値	標準偏差
胆振管内	3,250	12.6 / 26	48.3	—	12.0	5.3
北海道(合算)	33,973	13.1 / 26	50.3	—	13.0	5.3
全国(公立)	424,320	13.3 / 26	51.0	50.9 — 51.1	14.0	5.4
秋田(公立)	4,962	14.6 / 26	56.1	55.5 — 56.8	15.0	4.9

正答数 (生徒の割合(%))				
正答数 (正答率)	胆振	北海道	全国	秋田
0問 (0.0%)	0.4	0.2	0.4	0.0
1問 (3.8%)	0.6	0.4	0.4	0.1
2問 (7.7%)	1.0	0.8	1.0	0.3
3問 (11.5%)	2.0	1.7	1.7	0.6
4問 (15.4%)	2.8	2.3	2.4	1.4
5問 (19.2%)	3.7	3.2	3.1	1.6
6問 (23.1%)	4.0	3.9	3.6	2.4
7問 (26.9%)	4.8	4.8	4.2	2.7
8問 (30.8%)	5.1	5.0	4.7	3.5
9問 (34.6%)	6.4	5.4	5.1	4.0
10問 (38.5%)	6.9	5.9	5.4	5.3
11問 (42.3%)	6.4	6.0	5.7	5.3
12問 (46.2%)	6.0	6.0	6.0	6.4
13問 (50.0%)	5.8	6.3	6.2	6.1
14問 (53.8%)	6.6	6.4	6.4	6.6
15問 (57.7%)	6.1	6.5	6.4	8.5
16問 (61.5%)	6.0	6.4	6.4	7.7
17問 (65.4%)	5.3	6.1	6.2	6.4
18問 (69.2%)	4.7	5.4	5.8	6.9
19問 (73.1%)	4.2	4.7	5.3	6.6
20問 (76.9%)	4.1	4.1	4.5	6.2
21問 (80.8%)	3.1	3.4	3.6	4.8
22問 (84.6%)	1.8	2.4	2.5	3.6
23問 (88.5%)	1.4	1.5	1.6	2.0
24問 (92.3%)	0.7	0.8	0.8	0.8
25問 (96.2%)	0.2	0.3	0.3	0.3
26問 (100.0%)	0.0	0.1	0.1	0.0



9問以下の割合 **30.8** **27.7** **26.6** **16.6**

- 全国の下位約25%は、9問以下の正答数（正答率は34.6%以下）。
- 胆振管内は、この層に属する生徒の割合が30.8%となっており、全道・全国と比較するとやや多い。上位県と比較すると大幅に多い。

※ 全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に属する全道及び管内の児童生徒の割合を比較した。

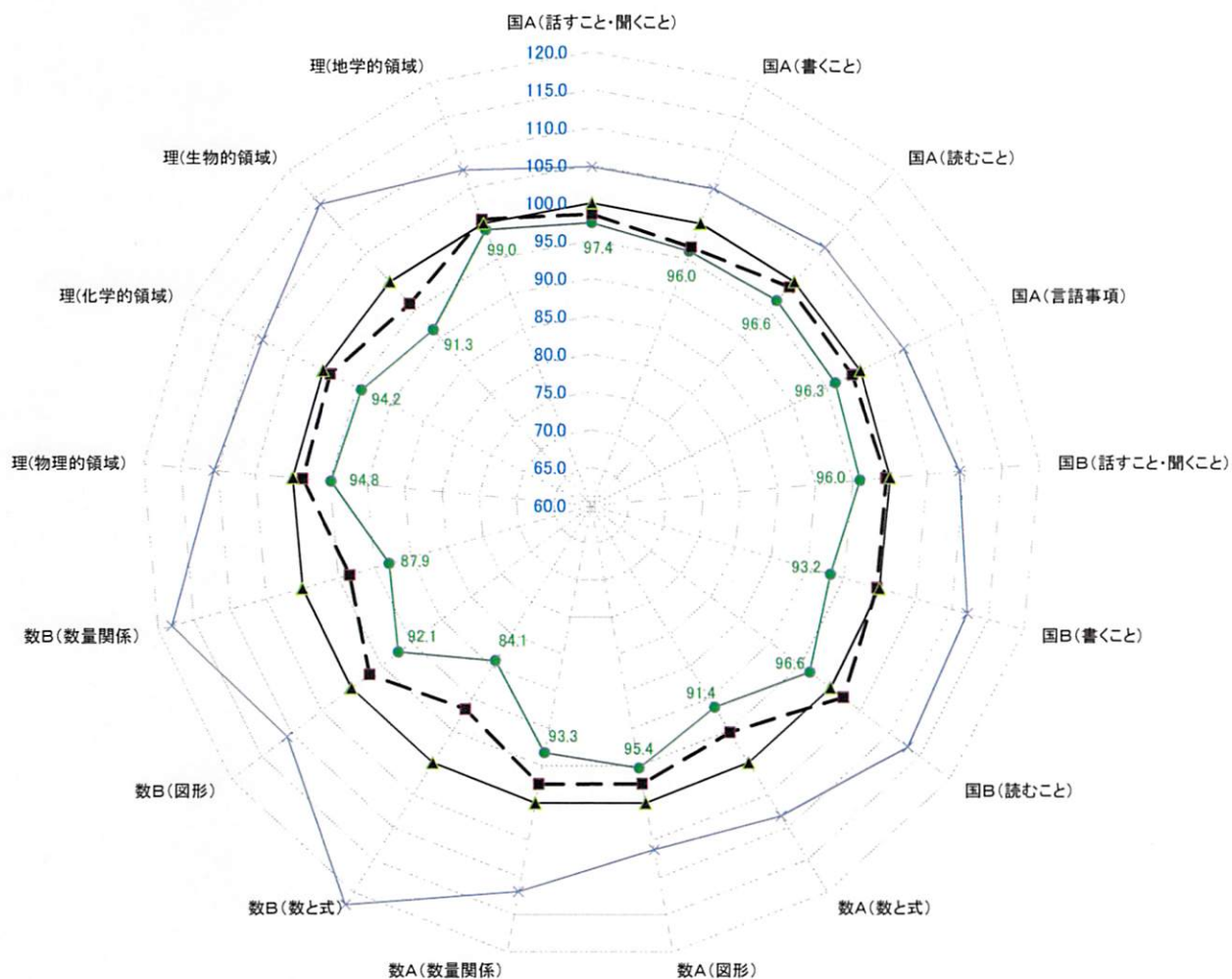
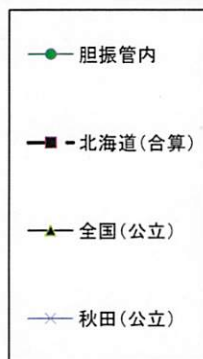
※ 児童生徒の割合は、小数第2位以下を四捨五入しているため、合計しても100にならない場合がある。

【参考】

「1 教科に関する調査」における「① 学習指導要領の領域等別平均正答率」の記載及び「② 6年間の推移」の示し方については、全道・全国の平均正答率との差を次のような基準により表している。

- ・道(国)と同様・・・1ポイント未満の範囲内
- ・道(国)とほぼ同様・・・1ポイント以上3ポイント未満の範囲内で、
道(国)より高いもの「ほぼ同様(上位)」
道(国)より低いもの「ほぼ同様(下位)」
- ・道(国)よりやや高い(低い)・・・3ポイント以上、5ポイント未満の範囲内
- ・道(国)より高い(低い)・・・5ポイント以上、7ポイント未満の範囲内
- ・道(国)より相当高い(低い)・・・7ポイント以上の範囲

⑤ 全教科のチャート図



※ 数値は、「それぞれの平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100」で算出し、管内のみ表記
 ※ 「1 教科に関する調査」の「① 学習指導要領の領域等別平均正答率」のデータをチャート図にしたもの

3 正答率別の児童生徒の割合

	小学校				中学校			
	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
平均正答率(%)	78.2	52.0	68.0	54.1	72.4	61.0	58.0	44.2
100～90%	26.4	6.4	9.6	7.2	16.1	2.5	6.7	3.1
90～80%	30.0	9.3	18.2	7.8	24.5	12.6	13.3	3.9
80～70%	21.0	12.3	21.9	9.0	22.3	21.2	10.9	11.2
70～60%	6.3	13.6	17.7	21.5	14.6	20.3	16.7	7.0
60～50%	8.7	12.6	13.7	11.6	9.5	16.1	13.8	15.1
50～40%	3.8	13.6	9.2	10.1	7.0	10.4	15.4	9.1
40～30%	1.1	10.3	5.3	18.0	3.2	6.0	12.1	18.9
30～20%	1.7	8.4	3.0	6.4	1.4	5.2	6.5	8.2
20～10%	0.9	7.2	1.4	4.3	0.8	3.5	3.7	13.8
10～0%	0.1	4.1	0.0	2.8	0.2	0.0	0.5	5.9
0%	0.1	2.1	0.0	1.3	0.2	2.0	0.3	3.7

※「10～0%」には、0%は含まれない。

(人数の割合%)

※小数第2位で四捨五入していることから、合計が100%にならないこともある。

4 児童生徒質問紙

(H24全道は合算・質問事項の()内は中学校)

Table with 15 columns: 質問番号, 質問事項, 校種, 年度等, 1, 2, 3, 4, 5, 6, その他, 無回答. It contains 15 rows of survey questions and their corresponding data for elementary and middle schools across different regions.

質問番号	質問事項	校種	年度等	選択肢						その他	無回答		
				1	2	3	4	5	6				
(6.1)	算数(数学)の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	小学校	H 2.4管内	31.5	32.8	24.0	11.6	—	—	0.0	0.1		
			H 2.3管内	25.5	31.7	27.8	14.7	—	—	0.1	0.1		
			H 2.4全国	30.1	32.8	25.1	11.9	—	—	0.0	0.1		
			H 2.4全道	31.9	34.2	23.3	10.4	—	—	0.0	0.2		
		中学校	H 2.4管内	11.6	22.8	38.2	27.0	—	—	0.0	0.4		
			H 2.3管内	10.1	18.8	37.5	33.3	—	—	0.0	0.2		
			H 2.4全国	11.7	23.0	38.9	26.1	—	—	0.0	0.3		
			H 2.4全道	12.3	24.2	38.7	24.5	—	—	0.0	0.3		
		(6.2)	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出るときに役に立ちますか	小学校	H 2.4管内	68.5	21.5	7.1	2.8	—	—	0.0	0.1
					H 2.3管内	63.7	23.2	9.3	3.6	—	—	0.1	0.1
					H 2.4全国	67.6	21.8	7.5	2.9	—	—	0.0	0.1
					H 2.4全道	68.4	21.9	6.8	2.6	—	—	0.0	0.2
中学校	H 2.4管内			36.1	33.9	20.1	9.4	—	—	0.0	0.5		
	H 2.3管内			27.2	32.3	25.5	14.7	—	—	0.0	0.2		
	H 2.4全国			36.2	35.0	19.3	9.2	—	—	0.0	0.3		
	H 2.4全道			36.9	34.9	19.0	8.9	—	—	0.0	0.3		
(6.3)	算数(数学)の授業で問題が解けると感じ、もっと簡単に解く方法がないか考えますか			小学校	H 2.4管内	45.8	32.0	16.5	5.6	—	—	0.0	0.1
					H 2.3管内	44.6	30.4	17.5	7.2	—	—	0.1	0.1
					H 2.4全国	44.1	32.8	16.9	6.0	—	—	0.0	0.2
					H 2.4全道	46.4	32.7	15.3	5.4	—	—	0.0	0.2
		中学校	H 2.4管内	33.1	31.3	23.9	11.0	—	—	0.0	0.7		
			H 2.3管内	29.2	30.6	26.0	13.8	—	—	0.0	0.3		
			H 2.4全国	33.0	32.0	24.6	10.0	—	—	0.0	0.4		
			H 2.4全道	33.0	33.3	23.7	9.6	—	—	0.0	0.4		
		(6.4)	算数(数学)の授業で公式やまじりの習うとき、そのわけ(根拠)を理解するようにしていますか	小学校	H 2.4管内	46.0	35.3	14.3	4.3	—	—	0.0	0.1
					H 2.3管内	41.9	35.4	17.0	5.4	—	—	0.1	0.2
					H 2.4全国	46.2	34.3	14.9	4.4	—	—	0.0	0.2
					H 2.4全道	45.7	35.0	14.6	4.4	—	—	0.0	0.2
中学校	H 2.4管内			28.3	37.2	24.6	8.9	—	—	0.1	0.8		
	H 2.3管内			27.0	35.9	25.0	11.8	—	—	0.0	0.3		
	H 2.4全国			29.1	37.8	24.4	8.2	—	—	0.0	0.4		
	H 2.4全道			29.5	38.4	23.3	8.3	—	—	0.0	0.4		
(6.5)	算数(数学)の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書かれていますか			小学校	H 2.4管内	51.2	31.1	12.9	4.6	—	—	0.0	0.1
					H 2.3管内	44.8	31.4	17.4	6.0	—	—	0.1	0.3
					H 2.4全国	51.7	29.6	13.7	4.8	—	—	0.0	0.2
					H 2.4全道	52.2	30.4	12.8	4.3	—	—	0.0	0.3
		中学校	H 2.4管内	36.7	36.9	18.7	6.8	—	—	0.1	0.8		
			H 2.3管内	40.5	33.1	18.0	8.1	—	—	0.0	0.3		
			H 2.4全国	39.3	36.0	17.6	6.5	—	—	0.0	0.5		
			H 2.4全道	41.5	35.8	15.8	6.5	—	—	0.0	0.5		
		(6.6)	今回の算数(数学)の問題について、言葉や式を使って、わけや求め方が分かるように解かされたか(解答や言葉や式を使って説明する問題がありましたか、最後まで解答を書こうと努力しましたか)	小学校	H 2.4管内	69.5	27.5	2.2	—	—	0.3	0.4	
					H 2.3管内	62.1	34.2	2.7	—	—	0.3	0.8	
					H 2.4全国	68.5	28.6	2.1	—	—	0.3	0.5	
					H 2.4全道	72.4	24.8	2.0	—	—	0.4	0.5	
中学校	H 2.4管内			38.4	49.0	11.5	—	—	0.0	1.1			
	H 2.3管内			46.8	40.9	11.2	—	—	0.0	1.1			
	H 2.4全国			41.9	47.8	9.4	—	—	0.0	1.0			
	H 2.4全道			45.9	44.8	8.4	—	—	0.0	0.9			
(6.7)	理科の勉強は好きですか			小学校	H 2.4管内	53.0	29.1	12.5	5.2	—	—	0.0	0.1
					H 2.3管内	—	—	—	—	—	—	—	—
					H 2.4全国	53.6	28.8	11.8	5.6	—	—	0.0	0.2
					H 2.4全道	51.5	30.0	12.6	5.6	—	—	0.0	0.3
		中学校	H 2.4管内	36.1	32.6	19.4	11.3	—	—	0.0	0.6		
			H 2.3管内	—	—	—	—	—	—	—	—		
			H 2.4全国	34.9	32.5	20.8	11.4	—	—	0.0	0.4		
			H 2.4全道	29.4	32.2	23.9	14.0	—	—	0.0	0.4		
		(6.8)	理科の勉強は大切だと思いますか	小学校	H 2.4管内	57.7	29.4	9.6	3.2	—	—	0.0	0.1
					H 2.3管内	—	—	—	—	—	—	—	—
					H 2.4全国	56.6	28.8	11.2	3.2	—	—	0.0	0.2
					H 2.4全道	57.5	28.8	10.3	3.0	—	—	0.0	0.3
中学校	H 2.4管内			34.2	35.4	21.8	8.0	—	—	0.0	0.6		
	H 2.3管内			—	—	—	—	—	—	—	—		
	H 2.4全国			32.1	36.7	22.7	8.1	—	—	0.0	0.5		
	H 2.4全道			31.7	36.8	22.5	8.6	—	—	0.0	0.4		
(6.9)	理科の授業の内容はよく分かりますか			小学校	H 2.4管内	52.3	34.9	9.7	3.0	—	—	0.0	0.2
					H 2.3管内	—	—	—	—	—	—	—	—
					H 2.4全国	52.0	33.7	11.1	3.0	—	—	0.0	0.2
					H 2.4全道	51.7	34.3	10.7	3.0	—	—	0.0	0.3
		中学校	H 2.4管内	26.3	41.8	23.3	7.8	—	—	0.0	0.7		
			H 2.3管内	—	—	—	—	—	—	—	—		
			H 2.4全国	26.2	41.1	24.4	7.7	—	—	0.0	0.5		
			H 2.4全道	23.2	40.9	26.0	9.3	—	—	0.0	0.5		
		(7.0)	自然の中で遊んだり自然観察をしたことがありますか	小学校	H 2.4管内	63.4	21.3	10.8	4.4	—	—	0.0	0.1
					H 2.3管内	—	—	—	—	—	—	—	—
					H 2.4全国	62.1	21.4	11.4	4.8	—	—	0.0	0.2
					H 2.4全道	64.7	21.0	10.1	3.9	—	—	0.0	0.3
中学校	H 2.4管内			40.6	28.7	20.6	9.1	—	—	0.0	0.8		
	H 2.3管内			—	—	—	—	—	—	—	—		
	H 2.4全国			42.3	28.0	19.8	9.2	—	—	0.0	0.6		
	H 2.4全道			40.8	29.4	19.7	9.4	—	—	0.0	0.6		
(7.1)	科学や自然について疑問を持ち、その疑問について質問したり調べたりすることがありますか			小学校	H 2.4管内	31.9	29.5	27.1	11.3	—	—	0.0	0.2
					H 2.3管内	—	—	—	—	—	—	—	—
					H 2.4全国	30.7	29.7	27.6	11.8	—	—	0.0	0.2
					H 2.4全道	32.1	30.9	26.1	10.5	—	—	0.0	0.3
		中学校	H 2.4管内	19.4	26.7	34.5	18.7	—	—	0.0	0.7		
			H 2.3管内	—	—	—	—	—	—	—	—		
			H 2.4全国	19.7	26.6	34.4	18.6	—	—	0.0	0.6		
			H 2.4全道	18.9	27.1	34.7	18.8	—	—	0.0	0.5		
		(7.2)	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	小学校	H 2.4管内	28.6	32.5	27.1	11.6	—	—	0.0	0.2
					H 2.3管内	—	—	—	—	—	—	—	—
					H 2.4全国	28.3	30.6	27.8	13.0	—	—	0.0	0.3
					H 2.4全道	29.5	32.4	26.3	11.4	—	—	0.0	0.4
中学校	H 2.4管内			14.2	24.2	38.0	22.9	—	—	0.0	0.8		
	H 2.3管内			—	—	—	—	—	—	—	—		
	H 2.4全国			13.4	24.1	39.0	22.9	—	—	0.0	0.6		
	H 2.4全道			13.3	25.1	38.6	22.4	—	—	0.0	0.6		
(7.3)	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出るときに役に立ちますか			小学校	H 2.4管内	42.3	30.9	19.2	7.4	—	—	0.0	0.2
					H 2.3管内	—	—	—	—	—	—	—	—
					H 2.4全国	41.5	29.8	19.6	8.8	—	—	0.0	0.3
					H 2.4全道	42.8	30.4	18.5	7.9	—	—	0.0	0.4
		中学校	H 2.4管内	21.5	30.8	30.6	16.1	—	—	0.1	0.9		
			H 2.3管内	—	—	—	—	—	—	—	—		
			H 2.4全国	19.9	30.9	32.1	16.4	—	—	0.1	0.6		
			H 2.4全道	20.4	31.5	30.8	16.6	—	—	0.1	0.6		
		(7.4)	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思えますか	小学校	H 2.4管内	14.0	14.5	25.1	46.2	—	—	0.0	0.2
					H 2.3管内	—	—	—	—	—	—	—	—
					H 2.4全国	13.6	13.8	25.1	47.3	—	—	0.0	0.3
					H 2.4全道	14.0	14.3	26.3	45.0	—	—	0.0	0.4
中学校	H 2.4管内			9.5	13.9	28.5	47.1	—	—	0.0	0.9		
	H 2.3管内			—	—	—	—	—	—	—	—		
	H 2.4全国			8.8	13.8	28.4	48.3	—	—	0.0	0.7		
	H 2.4全道			9.0	13.8	27.7	48.8	—	—	0.0	0.6		
(7.5)	理科の授業で、自分の考え(や根拠)をまわりの人に説明したり発表したりしていますか			小学校	H 2.4管内	21.7	24.5	34.8	18.7	—	—	0.0	0.2
					H 2.3管内	—	—	—	—	—	—	—	—
					H 2.4全国	20.8	25.5	34.3	19.1	—	—	0.0	0.3
					H 2.4全道	20.5	26.2	34.0	18.9	—	—	0.0	0.4
		中学校	H 2.4管内	7.9	17.7	40.1	33.4	—	—	0.0	0.9		
			H 2.3管内	—	—	—	—	—	—	—	—		
			H 2.4全国	8.6	18.1	40.6	31.9	—	—	0.0	0.7		
			H 2.4全道	9.0	18.4	39.4	32.5	—	—	0.0	0.6		

5 学校質問紙

Table with columns: 質問番号, 質問事項, 校種, 年度等, 1-9 (選択肢), その他無回答. It contains multiple rows of data for various survey questions (100-260) across different school types and years.

Table with 11 columns: 質問番号, 質問事項, 校種, 年度等, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, その他無回答. Rows include questions about mathematics instruction for 6th grade students, PTA activities, and teacher training.

Table with 11 columns: 質問番号, 質問事項, 校種, 年度等, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, その他無回答. Rows include questions about science instruction, educational activities, and teacher training for 6th grade students.